

Official publication of SHUKO-GAKUEN

Heart & Hand



2021
Vol.22



生活介護
修光学園

生活介護事業
光の家アクティブセンター

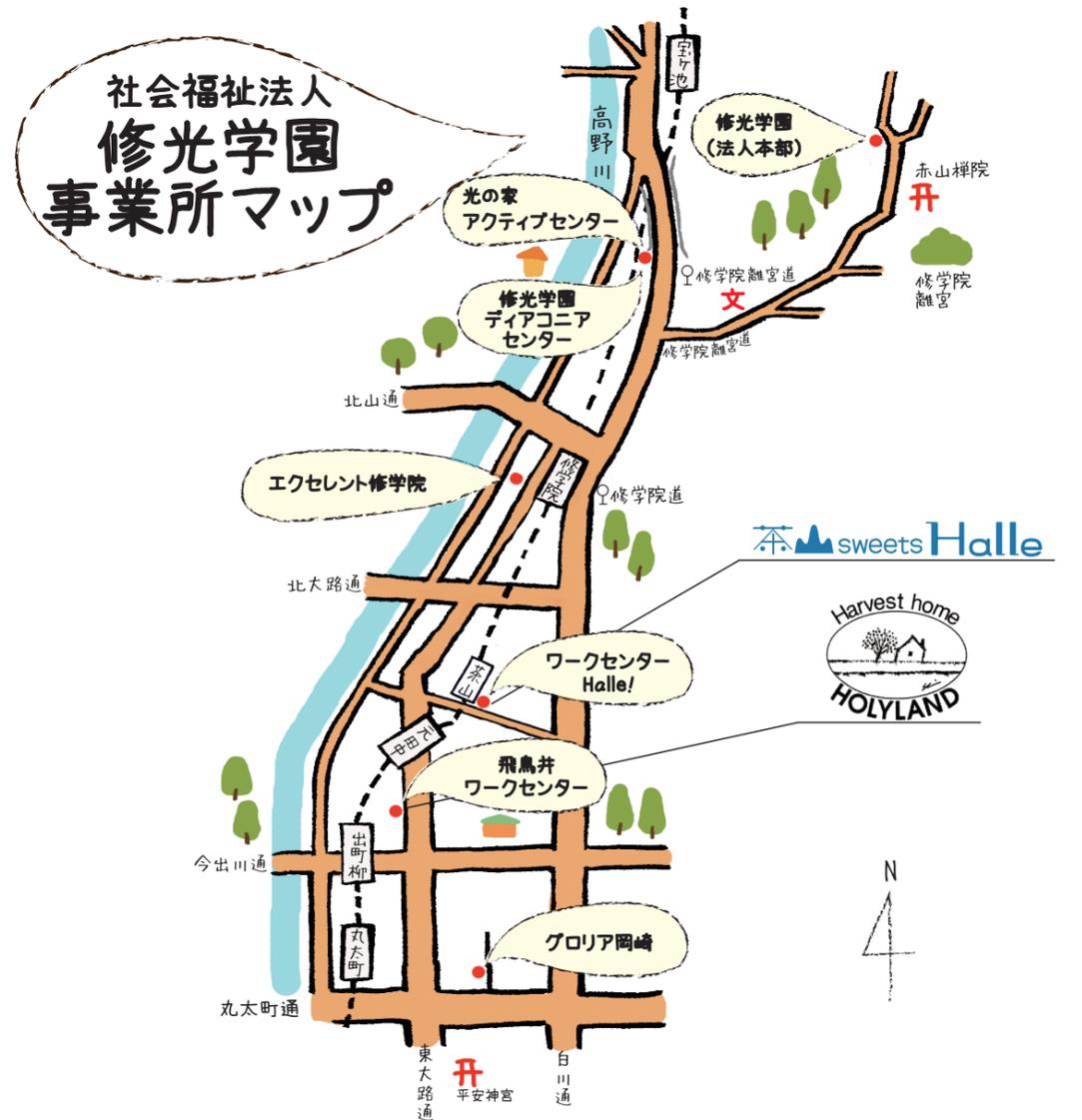
就労移行支援・就労継続支援 B 型事業
飛鳥井ワークセンター

就労継続支援 B 型事業
ワークセンター Halle!

地域生活支援事業・居宅介護等事業・特定相談支援事業
修光学園ディアコニアセンター

共同生活援助事業
修光学園グループホーム

短期入所事業
修光学園ショートステイ「ikoi」, 「hikari」



修光学園 (法人本部)
〒606-8033
京都市左京区修学院山添町 8-2
TEL 075-702-1700
FAX 075-702-2700
shuko@shuko-gakuen.or.jp



飛鳥井ワークセンター
/ Harvest home HOLYLAND
〒606-8226
京都市左京区田中飛鳥井町 40
TEL 075-722-5991
FAX 075-722-5951
asukai@shuko-gakuen.or.jp



ワークセンター Halle!
/ sweets Halle
〒606-8233
京都市左京区田中北春菜町 14-1
TEL 075-706-2400
FAX 075-706-2401
halle@shuko-gakuen.or.jp



修光学園グループホーム
エクセレント修学院
〒606-8003
京都市左京区山端川原町 9-1
エクセレント修学院



光の家アクティブセンター
/ ショートステイ「hikari」
〒606-8012
京都市左京区山端滝ヶ鼻町 3
TEL 075-711-7360
FAX 075-711-7370
hikari@shuko-gakuen.or.jp



修光学園グループホーム
グロリア岡崎
ショートステイ「ikoi」
〒606-8322
京都市左京区岡崎入江町 40-1



修光学園グループホーム
グリーンビュー宝ヶ池
〒606-0053
京都市左京区上高野車地町106



就労継続支援B型事業所
ワークセンターHalle!



1) 製函機によって次々と製造される箱を重ねて、出荷用に梱包していく。2) 仕切りのある箱などは手作業で行う。3) 郵送物の封入作業。



インタビュー
ワークセンターHalle!
副センター長
豊崎 景太 さん

機械の導入とスタッフの工夫で 生産性を高め、楽しく働く!

「修光学園では、就労継続支援B型施設からグループホームまで、利用者さんとその家族に寄り添った支援を行なっています。障がいを持つ方が地域で生活していくためには、さらなる賃金の向上が不可欠です」とワークセンターHalle!副センター長の豊崎景太さんは話します。賃金向上のためには、生産性を高めていくことが重要です。一人ひとりの得意なことを生かしつつ生産性を高める挑戦について聞きました。

『ワークセンターHalle!』では、ハツ橋やチョコレートなどの菓子箱を成形する「箱折り」という仕事があります。就労支援施設では昔からある一般的な仕事内容で、手の速い方なら一日に1000箱ほど折ることができます。

『ワークセンターHalle!』の最大の特徴は、一日最大1万5000箱を製造できる製函機が2台もあることです。ここでは年間1000万個ほど折る箱のうち、約半分が機械、残り半分が人の手作業で作られています。機械の方が生産時間を短縮でき、関わる人数も機械操作の人員のみで済むため他の仕事に人手を割くことができます。

2020年からは、封筒に決められた書類を入れる「封入作業」の仕事がスタートしました。案件によって書類の内容は変わりますが、基本的な手順が同じなので、利用者さん

も次第にスキルアップしていくことができる仕事です。とはいえ、最初から上手くいったわけではなかったとワークセンターHalle!副センター長の豊崎さんは話します。「デスクマットの下に見本を置いて封入する書類の向きをわかりやすくしたり、分業してベアになって進めたり。環境を整えるだけで、できることが格段に増えていきました。実際に働いている方に話を聞くと、「楽しい!」とみんな笑顔です。小さな失敗やハプニングもありますが、その分機械やスタッフの工夫で効率アップ。そのおかげでみんなが楽しく働く余裕が生まれていました。利用者さんのモチベーションを高く保ちつつ、いかに効率を上げていくかを私たちスタッフは常に考えています。工賃のアップによって利用者さんが自立し、地域で生活していけるように楽しい職場作りを目指します。」

Heart & Hand CONTENTS

- 02 インタビュー
ワークセンター Halle! 副センター長 豊崎 景太
- 03 カタログ
- 05 社会福祉法人修光学園グループの活動
- 07 修光学園
- 09 光の家アクティブセンター
- 11 飛鳥井ワークセンター
- 13 ワークセンター Halle!
- 15 修光学園ディアコニアセンター
修光学園グループホーム
- 17 メディア 2020
- 19 コロナ禍での活動と取り組み
- 20 沿革、評議員・役員等名簿
- 21 会計報告（貸借対照表・計算書）
- 22 ご支援くださいました方々

SHUKO GAKUEN CATALOG



コーヒーカップ
¥2,200(税込)

ティータイムをお気に入りのカップで!



7寸皿(リム有) ¥4,400(税込)
フラットな皿は何を盛り付けてもGOOD!



盛鉢(中) ¥3,850(税込)
料理が映える、使い勝手の良い盛鉢。



ZAKZAKシュークリーム
¥230(税込)



ネージュ
¥380(税込)



米幸バウム
1ホール¥1,800(税込)

[京都産米粉(ミズホチカラ)],[さくらこめたまご],[米飴]を使用。米粉の特徴を活かし、ふんわり口溶けの良いバウムクーヘンに焼き上げました。



トートバッグ(厚手)
¥2,200(税込)

ご利用者のイラストをあしらったバッグができました!オリジナルの愉快的妖怪達と一緒に出かけしてみてください。



コースター
¥100(税込)~



自家製カラメルの
Halleプリン
¥250(税込)



レモンケーキ
1個¥180(税込)
6個入り¥1,200(税込)



蜜玉まどれーぬ
1個¥220(税込)
5個入り¥1,200(税込)



ポストカード ¥150~¥200(税込)

オリジナル妖怪を描くことが得意なご利用者の個展開催を記念して、3種類のポストカードができました。見る者の想像力を掻き立ててくれる2種類の妖怪ポストカードと、自分で色をつけて作者とコラボできる塗り絵ポストカードの計3種類。



マスクカバー
¥500(税込)

不織布マスクにスナップでつけるタイプのマスクカバー。感染対策もオシャレも両立したい方にぴったり!



ハートのくるみメイプル ¥180(税込)

メイプルジャムとくるみをデニッシュ生地で巻きました。



ベーコンエピ ¥180(税込)

ベーコンとマスタードを折り込んだハード系のパン。



シュトレン ¥2,000(税込)

クリスマス時期限定販売のシュトレンです。このシュトレンに加えて、バレンタインに合わせて「チョコレートのシュトレン」、ホワイトデーに合わせて「ホワイトチョコのシュトレン」をそれぞれの時期に合わせて期間限定で販売します。



ヘアアクセサリ
¥100(税込)~



フェルトピック
¥100(税込)~



ハード食パン
1本¥360(税込) ハーフ¥180(税込)
シンプルな美味しさで毎日食べても飽きないフランスパン生地の食パン。



ラムレーズン ¥200(税込)
ラムレーズンのバタークリームをたっぷりサンドしました。



マヌルパン ¥180(税込)
韓国で人気のにんにくのパン。クリームチーズ、はちみつ、にんにくの取り合わせが他にはない風味を引き出します。

【Ⅲ 2020年度 マスタープランの推進状況】

01. 法律・制度等への対応

(1) 障害者総合支援法、次期報酬改定への対応

2018年4月に施行された改正障害者総合支援法について、現在法人の実施する事業に対して活用できるメニューが存在する可能性も含め、内容の分析と情報収集を行い、今後の中長期的な事業運営への影響等について協議検討を進めました。2020年度後半には生活介護事業所において、重度障害者支援加算の取得を行いました。また、2021年度に実施される報酬改定の時期が近づくにつれて、国や地方自治体、事業者団体を通じた情報収集に努め、法人に与える影響のシミュレーションを行うとともに、スムーズに移行できるように準備を進めました。

(2) 障害のある方の人権擁護、人権の回復に資する法律・制度等への対応

障害者虐待防止法、障害者差別解消法(禁止条例)、成年後見制度などの障害のある方の人権擁護、人権の回復に資する法律・制度等の適切な理解と、制度の活用を進めました。虐待が発生するメカニズムについて全職員の適切な理解を深め、「より良い支援」を提供していく取り組みを積極的に進めました。また、法人の実施する全てのアクションにおいては、国連の障害者権利条約の内容をその指標として常に持ちあわせることを目指し、真の共生社会の実現に向けて取り組みを進めました。

02. 財政・経営の改善

(1) 事業と財政の健全化

数年間にわたって取り組んできた施設利用率の向上、新規利用者の積極的な受け入れ、各種加算が算定できる体制づくりなどに加えて、2020年度は大規模な人事による人件費のセーブを実行しました。また、移動支援事業のサービス提供体制の大幅な見直し(規模縮小)や、修光学園ティアココアセンターの拠点光の家アクティブセンター建物に集約することで、人件費のみならず事務費・事業費の削減にもつながり、結果として法人全体の収支バランスの健全化が図られました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、緊急事態宣言の発令中には一部の事業でサービス利用の自粛要請を行いました。行政からの補助金や補助制度の活用により、減収を免れたことも大きな要因となりました。併せて、2017年度から着手した給与システムの抜本的な見直しに向けて、外部の専門機関との連携を継続して行いました。また、2020年度には業務手当の新設を実行しました。

(2) 経営改善に向けた中長期計画の確立

2020年度を開始期とする5か年計画「社会福祉法人修光学園アクションプラン2020」を推進し、「法人経営の基本方針」と「法人の行動基準」の一層の具体化を進めました。

03. 福祉サービスの提供

(1) サービスの質の向上と人材の確保・育成・定着に資する取り組み

運営理念や基本方針等に基づき、福祉サービスの質の向上と人材の確保・育成・定着に資するため、以下の取り組みを継続して行いました。

一、運営理念及び基本方針等の徹底

法人の運営理念や事業所の基本方針、倫理綱領等を役員に周知し、法人として進むべきビジョンを明確にするために、役員会や職員会議の場において理事長、施設長等から表明する機会を複数回に渡って設けました。また、新規採用職員研修会、全体職員研修会の場においても、法人の成り立ちや与えられた使命、法人理念や基本方針に基づいて事業所、職員がそれぞれ役割を担うことの重要性について周知徹底する機会を設けました。さらに、法人の設立日を記念して、10月1日には、修光学園新念碑の前にご利用者、役員が集い、法人設立に関わった諸氏の思いと功績に触れ、当時から変わらない現場にかけられる熱意と、利用される方への献身的な姿勢を共有し、感謝する場としました。

二、サービスの質の向上

サービスの質の向上を図るため次のことを継続して行いました。
●法人組織に設置したサービス向上委員会の活動を充実させ、職員等による「不適切な支援(=虐待)」をスロウガンとして多角的にサービスの質の向上を図りました。具体的には、「利用者支援サービスの基本的な実施方法」についてのマニュアル」の改定作業、ご利用者満足度調査の実施と集約、職員個人の日々の業務を振り返る「サービス向上セルフチェックシート」の実施、虐待を防止し、サービスの質を向上するための全体研修会の企画開催などを行いました。
●2013年度に制定した倫理綱領が職員全員に浸透するように、会議資料や規程集への掲載、事業所内への掲示などの取り組みを進めました。

●これまでに受診した福祉サービス第三者評価の結果をふまえ、マニュアル等の整備やサービス内容の改善を進めました。2020年度には修光学園の再受診を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、延期しました。

三、人材の確保・育成・定着に資する取り組み

質の高いサービスを継続的に提供するため、次のことを継続して行いました。
●より良い人材を確保できるように、職員募集時期の見直しや、大学・専門学校等に対する採用活動を行いました。また、「きょうと介護・福祉ジョブネット」事業への参画により行政、事業者、大学等との情報交換や連携強化を実現することが出来ました。
●2018年度に設置した、「人材採用・育成救命チーム」を中心に、福祉職就職フェアへの出席、大学等の事業への参画他、新規採用職員に対するフォローについても研修実施など具体的な実績がありました。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点で、学生が事業所を訪問する機会が大幅に減りましたが、オンラインを活用したインターンシップや法人PRの機会を逃すことなく、積極的な採用活動を展開することが出来ました。
●法人組織に設置した研修委員会の活動を充実させ、個別・計画的な研修の受講、キャリアの形成に導くシステム作り等を進めました。具体的には、職員研修年間計画、研修受講・資格取得履歴、キャリアアップレベル指標の見直し等の取り組みを継続しました。
●全職員の有資格化を目指して、職員の福祉系資格の取得を奨励し、またスキルアップを支援するため、「在職者資格取得・スキルアップ支援事業」を継続運用しました。2020年度中は3名の申請・適用がありました。
●全ての職員が充実して職務に動かし、ライフワークとして職場に定着出来るために実施しているメンタルケア・ヘルスケアのシステム、職員のキャリアアップに対する希望等を把握するためのヒヤリング実施などの取り組みを体系化した「社会福祉法人修光学園ヘルスケア・トータル

サポートシステム」を継続運用しました。また、福利厚生サービスとして、保険会社との提携による健康相談サービス、メンタルケアカウンセリングサービスを継続導入し、職員への周知を行いました。
●2017年度に設置した「働きやすい職場づくり検討会議」を継続設置し、労働環境の改善提案等の活動を行いました。

(2) 各事業所の機能強化と個別支援の充実

複数の事業形態で事業所運営を行っている法人全体のスケールメリットを活かし、各事業所の機能強化し、雇用就労の促進、工賃(利用者資金)の増額、日中活動支援の充実、生活支援の充実等に取り組みしました。就労継続支援事業では、製品レベルの向上や販路拡大をさらに助長させ、製パン部門や製菓部門では大きな成果をもたらしました。また、生活介護事業やグループホームにおいては、医療機関やリハビリテーションの専門機関等との連携を強化し、ご利用者の健康増進・日常生活能力の維持向上に力を注ぎました。さらに、相談支援事業でも、相談スキルの向上や他法人事業所とのネットワーク構築に向けて対外的なアプローチを積極的に行いました。各事業所の機能強化と分化、また、HOLYLAND建物の建て替えを軸とする法人事業全体の再編については、新事業所「光の家アクティブセンター」の開設により第一段階の完了を見ることが出来ました。今後、これらの再編をますます加速させてまいりたいと思います。

(3) 新たな福祉サービスの提供に向けての検討

現在の事業の見直しと今後の事業展開を模索する中で新規事業の開拓や新規事業所の開設も検討し、利用希望者の受け入れの促進と、法人事業の一層の充実を図りました。2020年度は光の家アクティブセンターの開設に合わせて生活介護事業所の新規利用者の受け入れと、短期入所事業の受け入れを拡大する実績がありました。

05. その他の法人の取り組み

(1) 法人事業所の建物、設備、機器等の経年劣化に伴う改修への対策

修光学園は33年目、その他の事業所も開設から20年以上経過していることから、設備類の更新を随時行いました。今後、建物本体、設備類、電気機器等の経年劣化に伴う改修・更新に備える取り組みを実施します「社会福祉法人修光学園 30th×ドリームプロジェクト」の使途特定寄附金の募集を終了し、修光学園後援会の協力のもと、継続的な運営支援を受けられる体制の構築を計画していましたが、実現には至っていません。引き続き、検討を行ってまいります。

2020年度 社会福祉法人 修光学園の歩み

【I 概説】

2015年度版のマスタープランに「今後想定される機能強化・機能分化イメージ」を明確にして以降、機能強化・機能分化の取り組みを法人あげて推進し、2015年10月にはHOLYLANDの建物の全面改築及び事業の再編計画を打ち出しました。2018年度の国の施設整備費国庫補助金の交付がようやく決定し、いよいよこのプロジェクトの本格始動に向けて大きく動くこととなりました。2019年度の一年をかけて、職員会議や設計関係者との協議・行政との協議、ご利用者・ご家族への説明等を経ながら、建設工事を無事に終えるまでに至りました。2020年度はこの新たな拠点に、修光学園ティアココアセンターの機能を集約した形で事業を開始し、単独型のショートステイ「hikari」も相まって、複合的な事業が一体的に行われる形態を活かした実践が展開されました。一方、新型コロナウイルス感染症の全国的な蔓延は、当法人の運営や事業所の活動には大きな影響があり



光の家アクティブセンター開所式

ました。当法人では、ご利用者ご家族、職員の健康維持と安全確保を第一とし、2月28日に「新型コロナウイルスの拡大防止に係る対応策について」の文書を出して各自及び事業所の感染対策の徹底を周知しました。その後、国の緊急事態宣言の対象から外れた京都府・京都市も、自らの緊急的な事態を国へ訴えていた4月初旬には、各サービスの利用の可能な限りの自粛をご利用者に対していち早く要請させていただきました。自粛期間は宣言解除の5月末まで約2ヶ月間に渡りましたがその間はご家庭の状況によって臨時的な受け入れを行ったり、電話や訪問による個別支援を行うことにより、給付費収入を一定確保することにも繋がりました。職員にも一部で在宅ワークを採用し、職員自身が感染源にならないための予防行動の徹底を明示するなどの対策を実施し、結果としては感染者の発生に至ることなく過すことが出来ました。ご利用者やご家族、職員とその家族にとっても2020年度の一年間は苦悩と我慢の一年でありましたが、健康や生命は他の何物にも代えられないものであると改めて実感するに至りました。

また、ここ数年の課題である法人全体の収支バランスの崩れを、どのようにして改善へと導いていくか、会計や組織運営の専門家も交えながら年間を通じて協議検討を重ねてまいりました。従来からの利用者増の取り組みに加えて、2020年度は大規模な人事による人件費のセーブを実行し、また、移動支援事業のサービス提供体制の大幅な見直し(規模縮小)や、修光学園ティアココアセンターの拠点を光の家アクティブセンター建物に集約することで、人件費のみならず事務費・事業費の削減にもつながり、結果として法人全体の収支バランスの健全化が図られました。単純に経費削減に終始することなく、職員のキャリアアップの仕組みを充実させることで、持続可能性のある組織へとさらなる成長を図ることを願って取り組んだ法人並びに各事業所の2020年度事業結果を以下のとおり報告します。

【II 新型コロナウイルスの拡大防止に係る対応策について】

2020/2/28 第1版配布(学校等の休校措置が提示されたことを受けて)	2020/05/25 第6版配布(利用の一部再開)	2020/05/23、特定非常時活動法人国際技術交流協会様より、サージカルマスク1,000枚を寄贈して頂きました。(写真左より、小室照美理事長様、修光学園理事長森のり子、同常務理事 森 亮)
2020/04/8 第2版配布(特定都市に緊急事態宣言発令を受けて)	2020/06/19 第7版配布(利用の全面再開)	
2020/04/13 第3版配布(密の回避、接触を減らす目的で利用自粛を要請)	2020/12/26 第8版配布(年末年始を控え、感染防止策の継続実施)	
2020/04/17 第4版配布(緊急事態宣言が全国へ拡大。職員の在宅勤務を開始)	2021/01/13 第9版配布(2度目の緊急事態宣言発令を受けて)	
2020/05/01 第5版配布(利用自粛の延長対応要請)	2021/1月~2月(事業所単位の職員の自宅待機等に伴う臨時的な対応について)その他・・・分かりやすい感染防止対策のチラシ、健康観察シートの配布	

～みなさんに、事業所の好きなのところを聞きました!～

生活介護事業

陶芸作業

練り込み技法を中心とした陶芸製品の製作



ご利用者
7名

2020年度新たに、班体制を製作班と製品管理班に分けることで、効率的に活動が行えました。前年度から引継ぎ、玉樹商店からコーヒーカップの大量注文を製作しました。光徳学区よりフリーカップを受注、納品しました。製品の売上動向のチェックを製品管理班と共有することにより、製品を計画的に製作し、在庫量の安定化を図りました。また陶芸作業以外に、買い物等の外出やウォーキングの機会を計画的に設定しました。ほかにはアートスペースコージンやラップ&ロールなどの企画展では、展示のみならず、製品をアピールし、販売も行いました。学園内で協働で作業を行うなど、班のメンバー同士がコミュニケーションを図れるような取り組みを行いました。

【販売先】

京都ほっとはあとセンター、はあとフレンズストア、アノニム・ギャラリー(長野県)、ドッテテ、スリーバンズ、で委託販売を行いました。

出店販売: 京都アートフリーマーケット

産業提携・クラフト作業・製品管理

紙製品、フェルトや刺し子製品の製作及び企業提携作業など



ご利用者
20名

ご利用者が視覚的に一日の作業等のスケジュールが見通せるように作業環境を整備、高品質の製品づくりを目指して作業技術の向上に努めました。利用者の方の作品展等を通じて、新規販売先や顧客の開拓に努めました。納品の際などに、提携先企業とのやり取りや作業を通して、社会人マナーやコミュニケーション面のスキルアップの機会を設けました。新たに陶芸製品の在庫管理や販売準備などを担う取り組みを始めるにあたり、ケースにラベルを添付し製品を整理しやすくするなど、活動内容の具体化を進めました。

【販売先】

京都ほっとはあとセンター、ぶらり嵐山、はあと・フレンズ・ストア、たんぼぼの家等に委託、各種バザー、販売会等で販売

提携先: 中村鋳螺、北村紙器、紅茶倶楽部、他



牟田学さん

白い紙に色を塗って、ちぎって、虹の形をした立体作品に貼り付けています。私は赤色が好きです。

岩本祐輔さん

陶芸の模様を出すための土づくりが楽しいです。商品を買った人が喜んでくれている姿を見て嬉しい気持ちになりました。

薄切った粘土を重ねていく土作りの作業。集中して丁寧にこなしていく。



色紙をちぎって貼り付けた虹の形の立体作品。

立体作品の制作中。どんなものができあがるのかは、完成してからのお楽しみ!



奥田拓也さん

ネジを袋に2個ずつ入れる仕事をしています。昼食の時間が楽しみで、肉の日が嬉しいです。ご飯もお味噌汁も大好き!

社会参加支援事業

【行事】

- 5月10日...京都グローバルワイズメンズクラブ
ふれあい例会バーベキュー大会(※中止)
- 6月7日...ナイスハート
ふれあいのスポーツ広場(※中止)
- 9月~10月...日帰り旅行(※中止)
- 10月1日...社会福祉法人修光学園設立記念式
- 11月15日...第33回修光まつり(※内容変更)
- 11月8日・15日・21日・29日
...修光学園オープンデー・陶芸教室
- 12月12日...クリスマス会
- 1月22日...成人式
- 2月19日...はいさいひかりコンサート(オンライン)
~にいじゅんさんと沖縄音楽を楽しもう~
- 9月26日・2月13日...ランチデイ



クリスマス会

利用者主体の活動

ご利用者が修光学園自治会の会員となり、ご利用者が主体の活動を行いました。

- 総会を随時開催し、案件を話し合いました。
- レクリエーションの内容を検討しました。
- 園内清掃を行いました。
- 安全や防災についてなど、学習の場を設けました。
- 2019年度の事業報告の説明会の開催。
- 園内で楽しめる企画の検討し実施しました。
- 8月8日(土)会長立候補受付
- 8月22日(土)会長選挙投票
- 新型コロナウイルスの感染予防のため、集まりを定期的に設けるような活動は行えませんでした。



ランチデイ

福祉人材の育成

見学希望の方には、手続きを経た上で、随時見学していただきました。

【見学の受け入れ】	
8月18日...佛敎大学、花園大学、大谷大学	4名
8月27日...インターンシップ生	1名
9月13日...大谷大学	1名
2月25日...インターンシップ生	1名
【研修・実習の実施】	
8月25日...佛敎大学	2名
9月8日...花園大学、大谷大学	2名
10月12日...京都弁護士会司法修習生	弁護士4名、司法修習生2名
10月15日...大谷大学	1名
11月25日...龍谷大学	1名



成人式



川上久美子 スタッフ

学生時代からアルバイトをしていたのですが、職員の方々がみんな優しいところが好きです。有給も取りやすく、とても働きやすい環境です。

事業の要点 修光学園

①2020年度は新型コロナウイルス感染症の感染予防と共に歩んだ一年と言えます。法人および事業所では、学校等の休校措置が提示されたことを受けて2020年2月28日に「新型コロナウイルスの拡大防止に係る対応策」についての第1版をご利用者・ご家族向けに発行して以降、年度内に第9版までそれぞれの段階で文書を出発して対応しました。新型コロナウイルス対応マニュアルの策定、4月5月には通所サービスの利用自粛(在宅支援)や職員の在宅ワークの実施、また、毎日の検温や体調記録を行う健康観察シートの配布、事業所の環境整備(密にならないためのパーティション設置等)、職員の予防行動ガイドライン作成等、積極的な取り組みと、ご利用者・ご家族、関係医療機関等のご協力により、陽性者を一人も出さず一年を過ごすことが出来ました。

また、事業継続の点では行政からの補助金や補助制度の活用、オンラインシステムの活用等により、滞りなく事業を推進することが出来ました。

②法人事業の再編に伴い、2020年度は3分の1程度のご利用者が入れ替わる形でスタートしました。新たな環境下においてご利用者の再アセスメントを行い、ニーズを把握した上で、職員配置や作業班の編成、また、様々な視点でアプローチを行うなど、新体制での取り組みを行いました。

③生活介護事業所としての役割を強化し、発達障害の方々には効果的な個別サービスの設置や視覚支援などの取り組みを行えるよう、後期には、前期の取り組みを振り返り、さらに良い支援が行えるよう検討を行いました。新たなアプローチも導入し、併せて、必要な環境整備も進めました。

④生活介護プログラムを行いながら、一方で、生産プログラムにも力をいれて取り組みを行いました。2020年度は陶芸班で製作から製品管理までを一括して行っていたものを、製作部と製品管理部とに分けたことにより、製品の仕上げや、販売準備などのより細かい部分まで、利用者の方が関わることが出来るようになりました。また、ご利用者のアート活動にもこれまで以上に力を入れ、ご利用者の作品を取り入れたオリジナル製品を作成するなど、新たな作業活動も開拓することが出来ました。

⑤相談支援事業所と連携し、長期間のショートステイ利用を余儀なくされていたご利用者を、他法人のグループホームの利用に繋げることが出来ました。その後も、相談支援事業所、グループホーム、居宅介護事業所との間で連携をとりながら、生活に関するフォローを継続して行いました。

⑥サービス向上委員会と連携し、ご利用者満足度調査をご本人向けにご家族向けにて実施しました。8月にはサービス向上セルフチェックシートに全職員で取り組みスタッフの支援の質の向上を図りました。また、9月にはセルフチェックシートの結果考察の他、「いまま、一度人としての尊厳を見つめなおす」というテーマで全職員研修を行うなど、虐待身体拘束防止に留まらず深く学ぶ取り組みを行いました。

光の家アクティブセンター

～みなさんに、事業所の好きなのところを聞きました!～

生活介護事業

製品製造・企業提携作業

フェルト製品、刺し子布巾、布マスク、布小物アクセサリなどの自主製品づくりと販売、紙器加工などの企業と連携した作業

■羊毛フェルトで季節のピックを製作し、地域のお花屋さんやバルーンショップに営業を行いました。また銀花園からフェルト製品を使ったピックを年間通じて注文を受注、フラワーショップKAZへピックの販売を行いました。

■プラザ修学院のヒロ、トコフラワーショップが製品を購入してくださいました。

■布マスクを製作し、法人内事業所にて委託販売、また、クリスマス会のプレゼントとして注文を受けました。

■布の端切れを活用し、ヘアゴムなどのアクセサリを製作しました。

■法人内事業所ワークセンターHalle!の紙器加工の作業を請け負い、定期的に納品を行いました。

■株式会社キャピタルからいただいた下請け作業として不定期で粗品タオルの袋詰めの仕事に取り組みました。

【販売先】

銀花園、フラワーショップKAZ、ヒロ、トコフラワーショップ、株式会社キャピタル



運動・リハビリ活動

体力維持、健康維持につながる身体的ケア(ストレッチや体操など)を提供しました。また、生活機能・身体機能の維持向上への取り組み(体幹機能訓練や歩行訓練など)を行いました。

社会参加支援事業

【事業所の行事】

- 4月1日…開所式・歓迎の集い 23名
- 10月1日…社会福祉法人修光学園 設立記念式 4名
- 12月25日…クリスマス会 21名
- 2月19日…はいさい!ひかりコンサート
～にいじゅんさんと沖縄音楽を楽しもう～ 20名
- 11月3日・2月11日・2月23日…ランチデイ 64名
- 3月31日…お疲れ様会 22名



利用者主体の活動

- 9月15日…役員自己紹介、代表決め
- 12月17日…クリスマス会役割分担
- 1月13日…お疲れ様会について話し合い
- 3月23日…お疲れ様会について話し合い、今年度の振り返り



福祉人材の育成

福祉人材の育成に資するための研修等を積極的に実施しました。

【見学の受け入れ】

- 8月26日…佛光大学2名 飛鳥井ワークセンター実習生
- 9月10日…花園大学2名 飛鳥井ワークセンター実習生
- 10月22日…大谷大学1名 飛鳥井ワークセンター実習生
- 11月20日…龍谷大学1名 ワークセンターHalle!実習生

【研修・実習の実施】

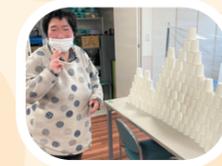
- 10月1日～16日…佛光大学 1名 保育実習
- 10月26日～11月10日…佛光大学 1名 保育実習



増田ゆかりさん
手芸の刺し子や箱折りなど、全部大好きです。三宅スタッフと話すのも大好き!



ひと針ひと針、ゆっくり丁寧に糸を通していきます。



紙コップタワーに初めてチャレンジ。大成功!



中村仁美さん
箱折りが何よりも楽しいです。



榮喜祥人 スタッフ

最近はグループ全体で表現活動に力を入れています。利用者さんがのびのび活動できています。他の施設と比べて、例えば言葉が出にくい方に対して「待つ」支援ができる。そんな余裕のある支援ができる風土が光の家の良さだと思います。

赤松健太さん

ラッピングや紐を通したり、布マスクの制作の仕事をしています。光の家が大好きです。ボールを屈伸してカゴに入れる体操は3番の運動が好きです。



ペットボトルを使った体操など、身近なものを活用しています。

自分のペースで好きな手作業をしながら、ゆったりと過ごす

事業の要点 光の家アクティブセンター

- ①2020年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防と共に歩んだ一年と言えます。法人および事業所では、学校の休校措置が提示されたことを受けて2020年2月28日に新型コロナウイルスの拡大防止に係る対応策について、第1版をご利用者ご家族向けに発行して以降、年度内に第9版までそれぞれの段階で文書を出して対応をしました。新型コロナウイルス対応マニュアルの策定、4月5日には通所サービスの利用自粛(在宅支援)や職員の在宅ワークの実施、また、毎日の検温や体調記録を行う健康観察シートの配布、事業所の環境整備(密にならないためのパーティション設置等)、職員の予防行動カイドライン作成等、積極的な取り組みとご利用者ご家族関係医療機関等との協力により、陽性者を一人も出さず一年を過ごすことが出来ました。また、事業継続の点では行政からの補助金や補助制度の活用、オンラインシステムの活用等により、滞りなく事業を推進することが出来ました。
- ②新設の事業所としてのスタートにあたって、新たな環境下においてご利用者のアセスメントを行い、ニーズを把握した上で、これまでの実践を生かし、適切な支援を行いました。また、各種のマニュアルや書式の整備、備品類の整備、近隣住民の理解促進などに取り組みました。
- ③日常生活の介護や健康管理、運動や機能訓練プログラム(リハビリ)を提供するために、専門職の指導や協力の下で支援を行いました。
- ④生活介護事業の中において、作業活動も生活支援の一つの柱という考えに基づき、作業活動を効果的に取り入れていきました。
- ⑤法人内の各事業所と情報の交換を密にし、他の事業所も日常業務でのフォロー体制を構築しました。その一つとして、スタッフがグループホームに出向くなど、他の事業所のスタッフと協力してご利用者の支援を行いました。また、ご利用者の見学や実習の受け入れ等でも、連携を深めました。
- ⑥相談支援事業所と連携し、法人事業所内だけの対応ではなく、他の事業所でのショートステイや、訪問リハビリ事業所等の専門機関を利用するなど、地域での活動やご家庭への支援を行いました。
- ⑦サービス向上委員会と連携し、ご利用者満足度調査をご本人向けにご家族向けと実施しました。8月にはサービス向上セルフチェックシートに全職員で取り組み、スタッフの支援の質の向上を図りました。また、9月にはセルフチェックシートの結果考察の他、「いま一度、人としての尊厳を見つめなおす」というテーマで全職員研修を行うなど、虐待・身体拘束防止に留まらず深く学ぶ取り組みを行いました。

飛鳥井ワークセンター

～みなさんに、事業所の好きなのところを聞きました!～

就労支援事業

2020年度の平均工賃
17,118円

製パン課

各種パンの製造、店舗販売、
注文販売、出張販売

ご利用者
15名

製造スタッフと店舗スタッフの連携を密にするため、定期的にミーティングを行いました。季節商品(期間限定商品)、新商品の開発や既存商品の見直しを随時行いました。作業工程の見直しを適宜行い、効率化を図りました。食器洗い洗浄機を導入し、衛生面の向上を図りました。

【販売先】

〈外販・委託販売先〉ひと・まち交流館、ハートピア京都、京都ノートルダム女子大学

〈定期注文〉養正保育所、北白川いずみ保育園、愛友保育園、鴨東幼稚園、桃林幼稚園



パン店舗リニューアル

調理配食課

各事業所の昼食配膳、
グループホームへの夕食配食

ご利用者
10名

光の家アクティブセンター開所に伴い、利用者配置や配膳方法を変更しました。指示書などを使い、作業を選び自分で考えながら作業に挑戦できるよう取り組みました。手洗いの方法等について、利用者に分かりやすいようにイラスト入りで掲示を行いました。季節感のあるメニューや、新メニューなどを検討し提供しました。利用者の調理技術向上のために、土曜出勤日を利用して利用者の考えたメニューを調理する機会を設けました。衛生管理に必要なHACCPの考え方を取り入れた日誌の活用を行いました。

【取引先】

飛鳥井ワークセンター、光の家アクティブセンター、修光学園、修光学園ディアコニアセンター、ワークセンターHalle!、修光学園グループホーム



秋まつり

企業提携課

青果類の計量及び袋詰め作業
ねぎの皮むき作業

ご利用者
38名

企業提携課の作業は、地元の企業との連携により作業を受託し、利用者への日々の就労支援を行いました。(株)なかむらでの作業では、「施設外就労」の場として機能を充実する中で、今年度利用者の中の3名がパート就労を継続しています。企業提携課の主な作業をスタッフが交代で担当する形をとり、作業の情報共有と利用者の情報共有を図りました。スタッフ間の情報共有をベースに日々の情報の伝達を活発にすることで作業量の適切な分配を行い利用者への日々の作業を確保することができました。

【取引先】

(株)生鮮館なかむら、(株)グレースたなか、(株)京都知七 他



九条ネギは皮をむき不要部分や汚れを取り除いて、商品として出荷できるようにします。



三石美由 スタッフ

利用者の皆さん、仕事が好きの方が多いのが飛鳥井ワークセンターの自慢です。「まだまだできるで!」と元気に声かけてくれたり、仕事のモチベーションが高い姿を見ると、利用者の皆さんを心から尊敬できます。そんな活気ある雰囲気が大好きです。

①2020年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防と共に歩んだ一年と言えます。法人および事業所では、学校等の休校措置が提示されたことを受けて2020年2月28日に「新型コロナウイルスの拡大防止に係る対応策について」の第1版をご利用者ご家族向けに発行して以降、年度内に第9版までその段階で文書を出して対応をしました。新型コロナウイルス対応マニュアルの策定、4月5日には通所サービスの利用自粛、在宅支援や職員の在宅ワークの実施、また、毎日の検温や体調記録を行う健康観察シートの配布、事業所の環境整備密にならないためのパーティション設置等、職員の予防行動ガイドライン作成等、積極的な取り組みと、ご利用者ご家族、関係機関等との協力により、陽性者を一人も出さず、一年を過ごすことが出来ました。

②生産活動及び就労支援の充実を図りました。

1名の方12週間の企業実習をしていただきました10月、コロナ禍で勤務先が休業となり、長期の自宅待機を余儀なくされた方1名について、飛鳥井ワークセンターで作業活動に参加していただき、中時間の充実と体力維持に役立てていただきました。

【就労継続支援B型事業】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、国による緊急事態宣言発令に伴って、一時的に在宅支援、4月～6月を行いました。在宅支援期間も、野菜袋詰めと製パン事業を稼働し、一定の収入を確保することができました。中小企業家同友会に加盟し、企業経営について実践を学ぶとともに目標工賃の達成に向けた課題解決に継続して取り組みました。日本セルフセンター製パン部会に参画し、全国の障害者施設の製パン技術向上のための勉強会に参加しました。

③福祉サービス等第三者評価の自己評価に取り組み予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて実施を見送りました。

④法人内事業所再編にもなる法人内他事業所への移行に関して、相談支援事業所、法人内他事業所と連携し、従業員ならびにご家族の意向を確認する作業を継続しました。

⑤コロナ禍ではありましたが、社会福祉士養成現業実習は養成校と連絡を密にし、感染対策に努めながら受け入れを行いました。また、インターシップについてはオンラインによる施設紹介を行い、人材育成に向けた取り組みを行いました。

⑥サービス向上委員会と連携し、ご利用者満足度調査を本人向けとご家族向けとで実施しました。8月にはサービスの向上セルフチェックシートに全職員で取り組み、スタッフの支援の質の向上を図りました。また、9月にはセルフチェックシートの結果考察の他、「いま一度人としての尊厳を見つめなおす」というテーマで全体職員研修を行うなど、虐待・身体拘束防止に留まらず深く学ぶ取り組みを行いました。

【就労移行・就労継続支援B型】 ASUKAI WORKCENTER

飛鳥井ワークセンターは、従業員(ご利用者)の自己選択と自己決定を尊重し、就労による自己実現を支援しています。就労支援では、製パン課、企業提携課、調理配食課に分かれた就労の機会を提供するとともに、生活面の充実に向けた支援にも取り組んでいます。

山守一枝さん

じゃがいもやにんじんの袋詰めから、それを秤で計量することまで、なんでもこなすことができます。働くのが好きなので、残業も積極的に取り組んでいます。クリスマス会など、イベント行事を楽しみにしています。



1袋の重さが同じになるように計量する作業。正確にきちんと計っていきます。

就労移行支援事業

就労移行支援…ご利用者2名

ご利用者一人ひとりの目標や課題にあわせ、飛鳥井ワークセンター各作業課でのトレーニングに取り組みました。必要に応じてビジネスマナーの学習を実施しました。就労移行支援関係諸機関との連携を通じて、担当スタッフの質の向上と、障害者雇用についての情報収集に努めました。

【連携先】

京都市障害者就業・生活支援センター、ハローワーク(京都障害者職業相談室)、京都障害者職業センター、京都市保健福祉局障害福祉推進室、他の就労移行支援事業所

就労定着支援…ご利用者1名

一般就労をした方の精神的サポートや他の就労移行支援諸機関との協働、就労先担当者との連絡調整を行いました。また必要に応じて、関係諸機関によるケースカンファレンスを実施し、生活環境の改善等の支援を行いました。

【連携先】

京都市障害者就業・生活支援センター、ハローワーク(京都障害者職業相談室)、京都障害者職業センター、京都市保健福祉局障害福祉推進室、一般就労先各企業など

福祉人材の育成

福祉人材の育成に資するための研修等を積極的に実施しました。

【研修・実習の実施】

8月17日～9月17日、9月28日～10月30日…大谷大学 1名 社会福祉士資格取得実習

8月17日～9月17日…花園大学 1名 社会福祉士資格取得実習

8月3日～9月8日…佛光大学 2名 社会福祉士資格取得実習

8月20日…オンライン実施 5名 京都府 福祉職場インターンシップ

8月21日…オンライン実施 2名 京都府 福祉職場インターンシップ

8月24日…オンライン実施 1名 京都府 福祉職場インターンシップ

8月27日…見学 2名 京都府 福祉職場インターンシップ

2月24日…オンライン実施 3名 京都府 福祉職場インターンシップ

2月25日…見学 1名 京都府 福祉職場インターンシップ

10月12日…京都弁護士会司法修習生研修 6名

ワークセンター Halle!

～みなさんに、事業所の好きなのところを聞きました!～

就労支援事業

2020年度の平均工賃
28,176円

製菓事業

各種洋菓子の製造、委託販売、注文販売、店舗販売、OEM商品製造

ご利用者
8名

こどもの日、ハロウィンイベントを開催、クリスマスはケーキ販売(予約)、バレンタイン、ホワイトデーと期間限定商品の製造、販売を行い販売促進に努めました(新型コロナウイルス蔓延防止の観点からイベントチラシのポスティングなどはせず、SNSでの発信や店頭での告知のみ)。叡山電車両内(3車両)に広告を7月まで掲載継続、1月22日～23日には店舗の3周年記念イベントを実施しました(SNS発信・店頭告知のみ)。京都素材の生産地・生産者訪問として、5月28日に「樋口養蜂園」とち蜂蜜採蜜現場の見学、6月8日に「宮本ファーム」田植体験をさせて頂きました。京都市のふるさと納税返礼品に「京都sweetsセット」が採用されました。京都ノートルダム女子大学から大学創立60周年記念の商品製作依頼を受け、学生との共同開発に取り組みました。京都発明協会からの依頼で、いちご農家の母を使ったレシピを開発。いちご狩りに来られたお客様用のお菓子を納品しました。

【販売先】

茶山 sweets Halle、HOLYLAND飛鳥井店、京都ほっとはあとセンター各店舗、じねんと市場、関西セミナーハウス、京都紅茶倶楽部、はあと・フレンズ・ストア、高島屋(オンラインストア)等の委託販売店のほか、各種バザー販売会等で販売。



社会参加支援事業

- 6月20日…小グループ慰労会(※中止)
- 10月1日…社会福祉法人修光学園 設立記念式
- 12月21日…miniクリスマス会
- 3月15日…成人のお祝い&新年会



紙器加工事業

箱折り、DM作業、企業提携、他

ご利用者
25名

企業と連絡を密にし、コロナ禍による受注量の落ち込みをカバーできるように取り組みました。DM作業の受注を目指して、4社と取引を開始しました。作業の効率化を目的に作業日報フォームの見直しや使用物品の整理を行いました。今後力を入れていくDM作業において、利用者の作業スキル獲得を目指した取り組みを行いました。

【取引先】

山田紙業、コトブキ、福見印刷、グラウンド、平安、ISA、雅Hand Work Service、シマプリ、プレスハウス、デリバリーサービス、京都中小企業診断協会、日本セルフセンター他

福祉人材の育成

- ・福祉人材の育成に資するための研修等を積極的に実施しました。
- ・各種学校等と連携し、実習の目的に応じた実習生受け入れ体制を整えました。
- 8月28日…佛教大学 2名
- 9月2日・3日…京都中央看護保健大学校 2名
- 9月4日…花園大学 1名
- 9月4日…大谷大学 1名
- 10月12日…京都弁護士会 司法修習生研修 6名
- 10月16日…大谷大学 1名
- 11月2日～12月9日…龍谷大学 1名

地域との連携と地域福祉の推進・啓発活動

- 6月24日…京都市民連あすかい病院(利用希望者) 3名
- 6月26日…京都市立東総合支援学校 3名
- 7月10日…京都市立東山総合支援学校 1名
- 7月15日…京都ノートルダム女子大学(酒井ゼミ) 5名
- 8月27日…京都市洛西ふれあいの里産産園 4名
- 8月27日…インターンシップ生 2名
- 10月13日…大谷大学 1名
- 10月14日…京都市立北総合支援学校 2名
- 10月22日…社会福祉法人蒲生野会プリズム 2名
- 11月4日…京都市立北総合支援学校 3名
- 11月30日…光華女子大学 2名
- 12月17日…特定相談支援事業所 よしだ 4名
- 1月15日…高次脳機能障害者支援 つむぎ 2名
- 2月12日…デリバリーサービス 1名
- 2月25日…インターンシップ 1名
- 3月12日…利用希望者ご家族 1名
- 3月18日…京都市立北総合支援学校 3名



チョコレートなどのお菓子の箱折り作業。パズルのようで組み立てるのが楽しいです。



大茂翔斗 さん

封入作業も箱折りが好き。ここにきて友だちと話すのも好き。Halle!のお菓子が大好きで、お給料はそれに使っています。今日はたまごプリンにしようかな。



太田佳乃 さん

店舗の店番の仕事をしています。近所のお客さんとお話ができる接客が楽しいです。私のおすすめ商品は、レモンの形をしたレモンケーキです。



製菓作業は丁寧さがとても大切なので、しっかり集中して行います。



豊崎景太 スタッフ

副センター長としてHalle!の運営サポートをしています。修光学園の良いところは、年齢や立場に関わらず各々職員がアイデアを出しやすい風通しの良い環境です。



植田匡 さん

きれいに速く折れると楽しいので、箱折りの仕事が好き。お給料で何をかうかも楽しみの一つで、次はゲームを買いたいと思っています。



できあがった箱は梱包をして納品します。タイミングを合わせるのが難しい2人1組みで行う作業も、こんなに息がぴったり!

お菓子作りに箱折りなど、いろいろなことにチャレンジ!

事業の要点 ワークセンター Halle!

- ①2020年度は新型コロナウイルス感染症の感染予防と共に歩んだ一年と言えます。法人および事業所では、学校等の休校措置が提示されたことを受けて2020年2月28日に「新型コロナウイルスの拡大防止に係る対応策について」の第1版をご利用者ご家族向けに発行して以降年度内に第9版までそれぞれの段階で文書を発行して対応しました。新型コロナウイルス対応マニュアルの策定、4月5日には通所サービスの利用自粛(在宅支援)や職員の在宅ワークの実施、また、毎日の検温や体調記録を行う健康観察シートの配布、事業所の環境整備(密にならないためのパーティション設置等)、職員の予防行動ガイドライン作成等、積極的な取り組みをご利用者ご家族、関係医療機関等のご協力により、陽性者を一人も出すことなく一年を過ごすことが出来ました。また、事業継続の点では、行政からの補助金や補助制度の活用、オンラインシステムの活用等により、滞りなく事業を推進することが出来ました。
- ②生産活動及び就労支援の充実
- 【紙器加工事業】
- ヤマト財団「夢のかけ橋実践塾」に職員1名を派遣し、作業効率化及び、目標を見える化する取り組みを開始しました。新規の企業提携の作業として、封入封緘の事業を開始し、印刷系の株式会社社社と取引を開始しました。数値目標として年間50万円の取引を予定していましたが、100万円を超える取引となりました。コロナ禍の作業が少ない時期を使って、従業員の封入封緘の作業技術向上研修を行いました。
- 【製菓事業】
- コロナ禍で従業員が休みの時期にも、洋菓子店舗「茶山 sweets Halle」は営業しました。店舗売り上げはコロナ前と比べて少し少ないぐらいで維持することができました。例年あるイベント出店に関しては軒並み中止になりました。京都市北部障害者地域自立支援協議会、はあとフレンズ・ストアのカタログ作成企画に参加しました。
- ③コロナ禍においても、実習生や見学などを積極的に受け入れ地域の福祉力を底上げしている取り組みを行いました。
- ④社会福祉士の資格取得のための実習生を1名受け入れました。他にもインターンシップや看護大学の実習生などを受け入れ、障害のある方の働く施設を知っていただく良い機会となりました。
- ⑤サービス向上委員会と連携し、ご利用者満足度調査をご本人向けにご家族向けとで実施しました。8月にはサービス向上セルフチェックシートに全職員で取り組み、スタッフの支援の質の向上を図りました。また、9月にはセルフチェックシートの結果考察の他、「いま一度、人としての尊厳を見つめなおす」というテーマで全体職員研修を行うなど、虐待・身体拘束防止に留まらず深く学ぶ取り組みを行いました。

地域生活支援・相談支援事業

修光学園ディアコニアセンター 修光学園グループホーム

～みなさんに、事業所の好きなおところを聞きました！～

共同生活援助事業 (グループホーム)

通院付き添いや服薬管理・服薬介助が必要な方が多く、日々の健康管理を強化し、バイタルチェックの実施、記録作成、申し送りの徹底などの取り組みを行いました。医療機関との連携では、三嶋医院(修学院)やいわさきクリニック(岡崎)、吉田歯科医院(浄土寺)などの地域の小規模医院との良好な関係が持続でき、実際に医療相談や診察に繋がっています。新型コロナウイルス感染症対策においても、医療機関の指導助言を得て、事業所単位、スタッフ個別の単位での感染対策に取り組みました。パブテスト訪問看護ステーションしおん(北白川)と法人間業務提携を結び、週1回の定期訪問を継続実施しました。また、平安調剤薬局(岡崎)とも連携を継続し、在宅患者訪問薬剤管理指導を受けています。訪問看護ステーションしおんの訪問看護及び訪問リハビリ、訪問医療マッサージKEiROWとの個別契約による利用を継続し、ご利用者に必要な医療ケア、身体ケアの充実を図りました。



居宅介護事業・ 移動支援事業

利用希望に応えるため、他法人の居宅介護事業所と連携を取りながら適正な契約者数、サービス量を維持することに努めました。人材確保に努めると共に、法人事業の再編に伴うサービス提供体制の大幅な見直しを行い、ご利用者ご家族への説明と調整を実施しました。見直しの段階で法人外の事業所への移行を希望される方には、紹介や引き継ぎなどを実施しました。ヘルパーの資質の向上を図るため、新規登録ヘルパーに対する同行研修を充実させるとともに、より多くのご利用者に幅広くサービスを提供できるように計画的なサービス調整を行いました。

短期入所事業

修光学園(ショートステイ「ikoi」・「hikari」)
日中一時支援事業(修光学園ショートステイ「hikari」)

体制整備と運営形態の確立を継続して取り組みました。「ikoi」では、グループホーム「グロリア岡崎」の1室をショートステイとして使用するため、グループホーム運営の体制整備と並行してショートステイ事業を進めました。年間で「ikoi」7名・「hikari」4名(内、3名は「ikoi」との併用)のご利用がありました。



特定相談支援事業 (相談サポート「まあるく」)

サービス等利用計画の作成のために必要となる書類の準備、ご利用者ご家族への説明、法人内事業所の職員への説明と協力体制の確立など、円滑なサービス提供が可能となるように事業を進めました。複数法人のサービスを利用されているご利用者にも安定した支援を提供するために担当者会議を開催し、関係者と情報共有を行いました。サービス提供で使用する書類については、内容を見直し、より良く、より分かりやすい様式へと随時変更を加えました。ご利用者やご家族の健康状態の変化に応じて、必要な福祉サービスについて相談に応じると共に、将来の生活スタイルについても相談支援を行いました。



一色まり子さん

日中は給食配膳の仕事をしていて、グループホームで暮らしています。自分の部屋には机とベッドとテレビがあって、日記を書くことが日課です。自分の部屋は居心地が良く気に入っています。

増永尚子 スタッフ
グループホームで生活のケアを行っています。利用者3人に対して、スタッフ1人以上が担当するため、手厚く余裕のある支援ができています。修光学園の好きなおところはアットホームな雰囲気。職員一同、和気あいあいと働いています。



グループホームスタッフやヘルパースタッフの支援会議や研修も時間を確保して大切にしています。



長井浩二 スタッフ

ご本人とご家族の相談支援や、行政、他の施設との調整などを行なっています。基本一人仕事が多いのですが、修光学園のスタッフは色々なタイプの人があるのでプライベートな話をしているときももしろいです。



ホームではティータイムや食事を、とても楽しんでます。



田中久美さん

グループホームで暮らしています。中島みゆきが大好きで十八番は「悪女」。音楽が好きです。

毎日、楽しく快適に
生活できることを大切に！

福祉人材の育成

見学の希望があった場合には、必要な手続きを経て、随時見学をしていただきました。

研修・実習の実施	名数
8月26日…大谷大学	1名
9月10日…花園大学	1名
10月22日…大谷大学	1名
11月27日…龍谷大学	1名

事業の要点 修光学園ディアコニアセンター 修光学園グループホーム

- ①2020年度は新型コロナウイルス感染症の感染予防と共に歩んだ一年と言えます。法人および事業所では、学校等の休校措置が提示されたことを受けて2020年2月28日に新型コロナウイルスの拡大防止に係る対応策について「第1版」をご利用者ご家族向けに発行して以降、年度内に第9版までそれぞれの段階で文書を発行して対応しました。新型コロナウイルス対応マニュアルの策定、4月5月には不要不急のサービスの利用自粛や職員の在宅ワークの実施、また、毎日の検温や体調記録を行う健康観察シートの配布、事業所の環境整備(密にならないためのパーティション設置等)、職員の予防行動ガイドライン作成等、積極的な取り組みもご利用者ご家族、関係医療機関等のご協力により、陽性者を一人も出すことなく一年を過ごすことが出来ました。また、事業継続の点では、行政からの補助金や補助制度の活用、オンラインシステムの活用等により、滞りなく事業を推進することが出来ました。
- ②2020年4月に事業所の拠点を移転し、新たな場所での業務実施体制を整備しました。
- ③全てのスタッフの質の向上を目指し、定例のスタッフ会議や実際の勤務時に支援方針の検討や技術指導等を行いました。また、資格取得や事業所内・事業所外の研修への参加を奨励し、登録スタッフ2名が介護職員初任者研修を修了しました。
- ④新たなガイドヘルパーの養成と、地域福祉のさらなる向上を目的に、京都市移動支援事業従事者養成の研修を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施を見合わせました。
- ⑤戸建て型グループホーム「グロリア岡崎」の開業から5年が経ちました。ご利用者は主として健康面での変動が大きく、こまめな体調管理と医療機関との連携に努め、スタッフには介護技術のスキルアップを奨励しました。併設したショートステイは、スタッフ人員の課題、ホーム入居者の状況を鑑みて、緊急時を中心に限定して受け入れを行い、年間で8名の利用がありました。
- ⑥特定相談支援事業は、法人内通所事業所のご利用者を中心に計画作成業務に取り組み、2020年度末で利用契約者150名となりました。また、計画作成業務だけでなく、地域生活を送る上での必要なサービス調整や緊急対応なども適宜実施させて頂きました。
- ⑦京都府知的障害者福祉施設協議会に継続加入し、全国規模の情報入手や研修会への参加、事業所間交流などが活発になる成果が得られました。尚、修光学園ディアコニアセンターは地域支援部長施設として活動しました。
- ⑧法人事業の再編に伴い、主に移動支援事業のサービス提供体制の縮小・見直しを行いました。ご利用者ご家族へは、説明と調整を実施するとともに、法人外のヘルパー派遣事業所への移行を希望される方には、紹介や引き継ぎなどを実施しました。

社会福祉法人修光学園 沿革

1985年	4月	心身障害者通所支援事業「修学院学舎」開設
1987年	10月	社会福祉法人修光学園設立
1988年	5月	心身障害者通所支援事業「修学院学舎」閉鎖
1988年	6月	知的障害者通所授産施設「修光学園」開設(定員30名)
1991年	2月	修光学園の「練り込み箸置き」が 京都府主催第2回ベストデザインコンテストに入選
1991年	4月	心身障害者通所支援事業「修学院学舎」再開
1994年	6月	修光学園専用店舗「HOLYLAND」(心身障害者通所支援事業)開設
1996年	4月	知的障害者通所授産施設「京都市飛鳥井学園(飛鳥井ワークセンター)」 受託経営(定員50名)
1996年	6月	飛鳥井ワークセンター専用店舗「HOLYLAND飛鳥井店」開設
1996年	8月	阪神淡路大震災救援活動で厚生大臣表彰受賞
1999年	7月	レスパイトサービス事業(法人独自事業)開始
2000年	10月	京都市グループホーム体験事業「エクセレント修学院」開設
2001年	1月	修学院学舎の「ミニミニ香炉」が京都デザイン優品2001に認定
2002年	4月	心身障害者通所支援事業「ワークショップASK」開設
2002年	6月	社会福祉法人修光学園評議員会設置
2002年	10月	グループホーム「エクセレント修学院」(定員5名)が国基準に移行
2002年	11月	修学院学舎の「飯盒花器」が京都デザイン優品2003に認定
2003年	9月	修学院学舎を小規模通所授産施設「修光学園修学院学舎」に移行(定員19名)
2003年	12月	飛鳥井ワークセンター製造「オニオンプレッド」が 第1回ユニバーサルベークカップで大賞受賞
2004年	4月	「HOLYLAND」を移転、修光学園分場に移行(定員5名)
2004年	4月	第IIグループホーム「グリーンビュー宝ヶ池」(定員4名)開設
2004年	4月	修光学園の定員を35名に増員
2005年	3月	小規模通所授産施設「修光学園修学院学舎」を廃止し 4月より分場「HOLYLAND」に統合
2005年	3月	心身障害者通所支援事業「ワークショップASK」を廃止し 4月より飛鳥井ワークセンターに統合
2005年	4月	修光学園分場「HOLYLAND」の定員を19名に増員
2005年	4月	飛鳥井ワークセンターの定員を60名に増員
2005年	4月	居宅支援事業「修光学園ディアコニアセンター」開設
2005年	6月	「修光学園ディアコニアセンター」が 身体障害者・知的障害者・児童居宅介護事業所として認可
2006年	1月	修光学園の「ちぎり絵はがき」が京都授産振興センター製品コンペで特別賞受賞
2006年	2月	HOLYLANDの陶器「六角扁壺」が京都デザイン優品2006に認定
2006年	10月	2カ所のグループホームを障害者自立支援法に基づく 「共同生活介護・共同生活援助事業」に移行
2006年	10月	修光学園ディアコニアセンターの事業を障害者自立支援法に基づく 「居宅介護事業」と京都市「移動支援事業」に移行
2008年	10月	「社会福祉法人修光学園」を商標登録
2009年	4月	HOLYLANDを障害者自立支援法に基づく新事業体系 「就労継続支援B型」に移行
2010年	4月	HOLYLANDの定員を30名に増員
2011年	9月	修光学園を障害者自立支援法に基づく新事業体系「生活介護事業・就労継続支援 B型」に、飛鳥井ワークセンターを「就労移行支援事業・就労継続支援B型」に移行
2014年	1月	特定相談支援事業「修光学園ディアコニアセンター 相談サポート「まあるく」」開設
2015年	2月	グループホーム「エクセレント修学院」の定員を8名に増員
2016年	4月	グループホーム「グロリア岡崎」を開所し、 「エクセレント修学院501号室」を開所、定員17名となる 短期入所事業・修光学園ショートステイ「ikoi」を グロリア岡崎内に開設(定員1名)
2016年	9月	飛鳥井ワークセンターが京都市より障害者就労支援優良施設市長表彰を受賞
2017年	4月	社会福祉法人伸久会を吸収合併し、 新事業所「ワークセンターHalle!」(就労継続支援B型・定員20名)を開設
2017年	12月	ワークセンターHalle!に製菓工房を増設、HOLYLANDの製菓事業を移転
2018年	1月	洋菓子店「茶山sweets Halle!」を「ワークセンターHalle!」内に開設 京都市植物園で行われた、パティスリーあすの京都カップにて、 ワークセンターHalle!製造「米幸パウム」が、通行人100名から選ばれる 『グランプリ』と、7名の審査員から選ばれる『審査員優秀賞』の2冠を受賞
2019年	11月	HOLYLANDの跡地に、新事業所「光の家アクティブセンター」(生活介護・定員20名)、 「修光学園ショートステイhikari」(短期入所・定員2名)を開設 (修光学園ディアコニアセンターを同拠点へ移転)
2020年	4月	

社会福祉法人修光学園 (2021年7月末現在) 評議員・役員等名簿

理事	石室 良孝 (福)愛友会 理事長
理事	加藤 俊明 (公財)京都YMCA 総主事・代表理事 (学)京都YMCA学園常務理事・国際福祉専門学校校長
理事	末田 啓二 前・甲子園短期大学 特任教授
理事	土井 赴 土井公認会計士事務所 会長
理事 (理事長)	森 のり子 (福)修光学園 理事長
理事 (常務理事)	森 亮 (福)修光学園 修光学園・光の家アクティブセンター・ 修光学園ディアコニアセンター 統括センター長
監事 第三者委員	平尾 嘉晃 中村法律事務所所属 弁護士
監事 第三者委員	脇田 宣 (福)白川学園 理事長
評議員	青山 敏夫 社会保険労務士・行政書士 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす事務局長
評議員	榎本 栄次 (学)敬和学園理事長 (公財)日本クリスチャンアカデミー 関西セミナーハウス活動センター 所長
評議員	岡崎 祐司 佛教大学 社会福祉学部教授・副学長
評議員	椎村 梯知 (福)京都市左京区社会福祉協議会 会長
評議員	沼崎 勇 日本福音ルーテル京都教会・修学院教会 牧師
評議員	平尾 剛之 (一財)社会的認証開発推進機構 専務理事・研究主幹
評議員	三木 恒治 (福)恩賜財団済生会 滋賀県病院 院長 京都府立医科大学 名誉教授



みんなで力を合わせて頑張りました! コロナ禍での活動と取り組み

修光学園

ご利用者の自治会が主催となって「夏祭り」を館内で開催しました。お祭りの雰囲気を感じてもらえるように、お祭りのポスターを掲示したり、祭囃子の音楽を流すなど、工夫をしました。射的・スーパーボールすくい・ヨーヨーつりといった昔ながらの遊びに、皆さんがとても夢中になって楽しめました。



飛鳥井ワークセンター

飛鳥井まつりや日帰り旅行などの主だった行事が軒並み中止となる中、せめて館内で安全に楽しめる行事を、と「秋まつり」を企画しました。参加してもらう時間帯を区切ってセンターへ来所していただき、お祭り屋台の雰囲気やスタッフによる楽器演奏など、普段のお仕事場面とは違う和やかな時間となりました。また、例年行ってきた近隣の小学校への出前講座も、学校側の理解のもとで継続して行うことができました。



ワークセンターHalle!

楽しみの一つであるクリスマス会は大人数での集合が難しく、牧師先生によるクリスマス礼拝の様子をビデオで見せてもらいました。参加者のみなさんにプレゼントを渡して、ささやかなミニクリスマス会を行いました。



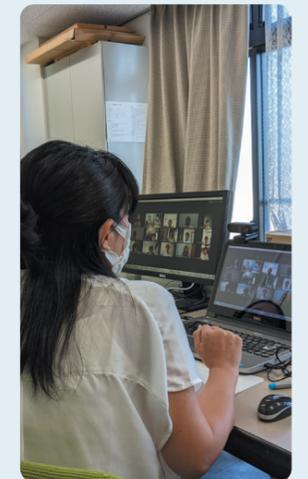
光の家アクティブセンター

オンラインシステムを活用して、沖縄音楽のライブを修光学園やご家族向けに生配信を行いました。そのほかスタッフの研修受講を進めました。ご利用者もスタッフも不慣れな中でしたが、徐々に慣れていきました!



その他の活動

福祉職を目指す学生さんの見学や体験の機会も失われてしまいましたが、オンラインを活用した見学会や、職員との面談を設定しました。



ご支援くださいました方々

(2020年4月1日～2021年3月31日 順不同・敬称略)

<ご寄附>

梅田吉邦 小笠原和雄
小谷武一郎 佐藤崇
汐崎文 末田啓二
竹下亘・八千代
長畑恵子 中原俊輔・秀子
三宅孝 森のり子 森亮
山田松雄 山本由利
愛友保育園 鴨東幼稚園
京都グローバルワイズメンズクラブ
特定非営利活動法人国際技術交流協会
朱常分店 聖光教会
西都教会 西都教会婦人会
赤山町内会
同志社高等学校 同志社女子高等学校
修光学園・光の家族会
飛鳥井ワークセンター家族会
ワークセンターHalle!家族会
(計1,071,000円・物品寄附を含む)

【後援会を通じて】

内田泰子・順子
佐藤晃一・温子
林徹
牟田澄子
錦林教会・ベスタロッツ保育園
(計37,000円・記念碑維持募金を含む)

<ボランティア/協力団体>

【ボランティア】

谷愛美 富永佳恵
二浦淳子 長谷川幹
堀富男 前田達彦 山田隆
京都ノートルダム女子大学酒井ゼミ
修学院学区社会福祉協議会
養正学区社会福祉協議会

【委託販売協力】

アノニム・ギャラリー 桂の泉
café & goods B.S.C
喫茶ほっとはあと府庁店・御池店
京鹿の子校振興協同組合
京都ノートルダム女子大学
京都紅茶倶楽部 きたら館
株グレースたなか 歳時樹
じねんと市場 スリーバンス
株高島屋オンラインストア 玉樹商店
たんばほの家 注文の多い交差点ドッテテ
チュラキューブ 同志社中学校
日本クリスチャン・アカデミー関西セミナーハウス
heart garden
ハートプラザKYOTO
はあと・フレンズ・ストア ヒロ
びあひと・まち ぶらり嵐山

【業務提携協力】

ISA ぎをんな多加匠心庵 南北村紙器工業所
株式会社キャピタル 京都紅茶倶楽部
株京都知七 銀花園 グラウンド
南グランブルー
クリーンスペース株式会社
株グレースたなか コトブキ株式会社
株斎王 株シマプリ
株ジャパンビバレッジホールディングス
株デリバリーサービス 株なかむら
中村鉄株株式会社
福見印刷企画株式会社
フラワーショップKAZ
トコフラワーショップ
株プレスハウス 株平安
雅ハンドワークサービ
山田紙業株式会社

【定期購入協力】

愛友保育園 あむりた
市原寮 鴨東教会・幼稚園
花友しらかわ
北白川いずみ保育園
北山バプテスト教会
京都学・歴史館
京都グローバルワイズメンズクラブ
京都市子ども文庫連絡会
京都市社会福祉協議会
京都市長寿すこやかセンター
京都市立病院労働組合
京都SKYセンター
京都府中小企業診断協会
京都府農業総合支援センター
京都府福祉人材・研修センター
京都府共同募金会
京都府高齢者情報相談センター
京都府社会福祉協議会
京都府難病・相談支援センター
京都府民間社会福祉施設職員共済会
京都府看護協会
京都府保育協会
京都府母子寡婦福祉連合会
京都府民生児童委員協議会
京都府ボランティアセンター
京都府シルバー人材センター連合会
京都府老人クラブ連合会
京都府介護支援専門員会
京都府身体障害者団体連合会
京都ほっとはあとセンター 光徳学区
修学院手をつなぐ会 修学院第二児童館
修学院保育園
スペシャルオリンピックス日本・京都
聖光教会・幼稚園 西都教会
全国心臓病の子どもを守る会京都支部 玉樹商店
桃林幼稚園 同志社中学校
にこにこ・オレンジカフェ・いわくら
日本バプテスト病院 日本福音ルーテル健康教会
日本福音ルーテル日本修学院教会
ハートピア京都会館事務所 バプテストめぐみ会
びあひと・まち ひと・まち交流館京都
FUKUJOBきょうと介護・福祉人材総合センター
MUKカンティーン 養正保育所

【実習・雇用受入協力】

株グレースたなか 株なかむら

【協力団体】

青梅工房 飛鳥井町内会
アトリエども
アントレプレナーシップ開発センター
いわくら病院 いわさきクリニック
NPO法人ジョブコーチ・ネットワーク
大谷大学 オムロン労働組合京都支部
南カシテック 京都医療福祉専門学校
(一社)京都馬主協会
京都グローバルワイズメンズクラブ
京都芸術大学 京都光華女子大学
京都市立花山中学校
京都歯科サービスセンター
京都市立嘉楽中学校
京都市立近衛中学校
京都市社会福祉協議会
京都市左京区社会福祉協議会
京都市立修学院小学校
京都市立修学院中学校
京都市立高野中学校
京都市立養正小学校
京都市立養徳小学校
京都障害者職業センター
京都障害者スポーツセンター
京都市地域リハビリテーション推進センター

京都市福祉ボランティアセンター
京都市北部障害者地域自立支援協議会
京都市北部障害者地域生活支援センター「きらリンク」
京都市北部障害者地域生活支援センター「ほくほく」
京都市北部障害者地域生活支援センター「らしく」
京都障害者就業・生活支援センター
京都ジョブパーク
(公財)京都新聞社会福祉事業団
京都中央看護保健大学校
京都手をつなぐ育成会
京都ノートルダム女子大学
京都府歯科医師会
京都府中小企業診断協会
京都府農業総合支援センター
京都ほっとはあとセンター
京都民医連あすかい病院
京都ライトハウス
京都YMCA
株グレースたなか
建都住宅販売株式会社
(公財)国際障害者年記念ナイスハート基金
国際ソロプチミスト京都・桃華
小山園製茶場(茶農喜左衛門)
左京消防署
左京区役所保健福祉センター サ・マーシュ
下鴨警察署
修学院各種団体連絡会
修学院学区社会福祉協議会
修学院手をつなぐ会
新京阪観光案内所
スペシャルオリンピックス日本・京都
聖コゼフ医療福祉センター
赤山町内会 滝ヶ鼻町東部町内会
株ただいま たんばほの家
(公財)中央競馬馬主社会福祉財団
同志社女子中学校・高等学校
株なかむら ナベガランチ
日本海牧場 日本セルフセンター
日本福音ルーテル教会
日本福音ルーテル修学院教会
日本福音ルーテル修学院教会
受取利息配当金収入
私的契約利用料収入
その他の収入
事業活動収入計(1)
人件費支出
事業費支出
事務費支出
就労支援事業支出
支払利息支出
三嶋医院 宮本ファーム 山端自治会
養正学区社会福祉協議会 養正児童館
立命館大学 龍谷大学
ルシェ・ハッタ
山元産業株式会社 吉田歯科医院
修光学園後援会
修光学園・光の家族会
飛鳥井ワークセンター家族会
ワークセンターHalle!家族会

修光学園の活動をお支え下さい

法人へのご寄附は確定申告により
税制上の優遇措置が受けられます
(後援会寄附を除く)

<郵便振替口座>

01060-2-65843

社会福祉法人修光学園

代表者 森のり子

<銀行振込口座>

京都銀行修学院支店(普通)771742

社会福祉法人修光学園

理事長 森のり子

2021年3月31日現在

勘定科目	資産の部		
	当年度末	前年度末	増減
流動資産	126,267,995	166,496,633	△ 40,228,638
現金預金	40,327,462	24,550,386	15,777,076
有価証券	10,000	10,000	0
事業未収金	76,862,597	73,586,949	3,275,648
未収金	0	0	0
未収補助金	0	61,800,000	△ 61,800,000
貯蔵品	724,785	493,471	231,314
商品・製品	3,003,700	1,616,750	1,386,950
仕掛品	1,472,697	931,275	541,422
原材料	849,373	956,792	△ 107,419
立替金	548,032	226,974	321,058
前払金	1,781,598	1,653,049	128,549
前払費用	0	0	0
一年以内回収予定長期貸付金	0	0	0
短期貸付金	0	0	0
仮払金	687,751	670,987	16,764
その他の流動資産	0	0	0
固定資産	606,376,236	620,411,656	△ 14,035,420
基本財産	569,626,173	581,780,095	△ 12,153,922
土地	247,875,100	247,875,100	0
建物	319,708,397	331,776,213	△ 12,067,816
構築物	2,042,676	2,128,782	△ 86,106
定期預金	0	0	0
投資有価証券	0	0	0
その他の固定資産	36,750,063	38,631,561	△ 1,881,498
土地	0	0	0
建物	10,516,650	12,113,486	△ 1,596,836
構築物	108,975	108,975	0
車両運搬具	6	1,179,107	△ 1,179,101
器具及び備品	10,807,709	14,343,384	△ 3,535,675
建設仮勘定	0	0	0
権利	371,000	371,000	0
ソフトウエア	6,210	290,754	△ 284,544
投資有価証券	0	0	0
長期貸付金	0	0	0
退職給付引当資産	0	0	0
長期預り金積立資産	0	0	0
工賃平均積立預金	14,822,383	10,107,725	4,714,658
備品購入積立預金	0	0	0
修繕積立預金	0	0	0
差入保証金	0	0	0
長期前払費用	58,150	58,150	0
その他の固定資産	58,980	58,980	0
資産の部合計	732,644,231	786,908,289	△ 54,264,058

貸借対照表

社会福祉法人修光学園

第3号の1様式(単位:円)

勘定科目	負債の部		
	当年度末	前年度末	増減
流動負債	45,765,664	113,421,241	△ 67,655,577
短期運営資金借入金	10,100,000	77,400,000	△ 67,300,000
事業未払金	22,164,263	22,661,372	△ 497,109
その他の未払金	0	0	0
一年以内返済予定設備資金借入金	5,544,000	5,544,000	0
一年以内返済予定長期運営資金借入金	0	0	0
一年以上返済予定長期未払金	255,984	255,984	0
未払費用	0	0	0
預り金	421,940	370,903	51,037
職員預り金	5,534,877	5,444,382	90,495
前受金	0	0	0
前受収益	0	0	0
仮受金	1,744,600	1,744,600	0
賞与引当金	0	0	0
その他の流動負債	0	0	0
固定負債	129,674,554	135,474,538	△ 5,799,984
設備資金借入金	129,410,000	134,954,000	△ 5,544,000
長期運営資金借入金	0	0	0
退職給付引当金	0	0	0
長期未払金	264,554	520,538	△ 255,984
長期預り金	0	0	0
その他の固定負債	0	0	0
負債の部合計	175,440,218	248,895,779	△ 73,455,561

純資産の部			
基本金	154,524,100	154,524,100	0
国庫補助金等特別積立金	99,142,439	105,147,335	△ 6,004,896
その他の積立金	14,822,383	10,107,725	△ 4,714,658
工賃平均積立金	14,822,383	10,107,725	4,714,658
備品等購入積立金	0	0	0
修繕積立金	0	0	0
建設積立金	0	0	0
次期繰越活動増減差額	288,715,091	268,233,350	20,481,741
次期繰越活動増減差額	288,715,091	268,233,350	20,481,741
(うち当期活動増減差額)	(25,196,399)	(△ 30,485,729)	(55,682,128)
純資産の部合計	557,204,013	538,012,510	19,191,503
負債及び純資産の部合計	732,644,231	786,908,289	△ 54,264,058

資金収支計算書

第1号の1様式(単位:円)

(自)2020年4月1日 (至)2021年3月31日

勘定科目	第1号の1様式(単位:円)		
	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
収入			
就労支援事業収入	58,097,000	59,949,446	△ 1,852,446
障害福祉サービス等事業収入	416,631,000	424,466,761	△ 7,835,761
自立支援給付費収入	385,547,000	392,279,442	△ 6,732,442
借入金利息補助金収入	0	0	0
経常経費寄附金収入	2,000,000	1,571,000	429,000
受取利息配当金収入	0	412	△ 412
私的契約利用料収入	0	74	△ 74
その他の収入	1,601,000	1,701,068	△ 100,068
事業活動収入計(1)	478,329,000	487,688,761	△ 9,359,761
人件費支出	312,383,000	311,046,856	1,336,144
事業費支出	33,958,000	33,183,621	774,379
事務費支出	49,037,000	50,565,197	△ 1,528,197
就労支援事業支出	58,097,000	56,466,509	1,630,491
支払利息支出	1,080,000	1,014,930	65,070
事業活動支出計(2)	454,555,000	452,277,113	2,277,887
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	23,774,000	35,411,648	△ 11,637,648
施設整備等補助金収入	0	0	0
設備資金借入金収入	0	0	0
固定資産売却収入	1,394,000	1,394,980	△ 980
その他の施設整備等による収入	0	0	0
施設整備等収入計(4)	1,394,000	1,394,980	△ 980
設備資金借入金元金償還支出	5,544,000	5,544,000	0
固定資産取得支出	405,000	686,000	△ 281,000
固定資産除却・廃棄支出	0	0	0
施設整備等支出計(5)	5,949,000	6,230,000	△ 281,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 4,555,000	△ 4,835,020	280,020
長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0
長期運営資金借入金収入	0	0	0
長期貸付金回収収入	0	0	0
積立資産取崩収入	0	116,589	△ 116,589
拠点区分間繰入金収入	0	0	0
その他の活動による収入	0	0	0
その他の活動収入計(7)	0	116,589	△ 116,589
長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0
積立資産支出	0	4,831,247	△ 4,831,247
拠点区分間繰入金支出	0	0	0
その他の活動による支出	256,000	255,984	16
その他の活動支出計(8)	256,000	5,087,231	△ 4,831,231
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 256,000	△ 4,970,642	4,714,642
予備費支出(10)	0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	18,963,000	25,605,986	△ 6,642,986
前期未支払資金残高(12)	55,370,559	55,370,559	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	74,333,559	80,976,545	△ 6,642,986

※修光学園ホームページにて詳細をご覧ください。

事業活動計算書

第2号の1様式(単位:円)

(自)2020年4月1日 (至)2021年3月31日

勘定科目	第2号の1様式(単位:円)		
	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収益			
就労支援事業収益	59,949,446	64,876,076	△ 4,926,630
障害福祉サービス等事業収益	424,466,761	405,987,806	18,478,955
私的契約利用料収益	0	1,425,513	△ 1,425,513
経常経費寄附金収益	1,571,000	3,886,355	△ 2,315,355
その他の収益	1,700,468	2,367,170	△ 666,702
サービス活動収入計(1)	487,687,675	477,259,920	10,427,755
人件費支出	311,046,856	328,236,105	△ 17,189,249
事業費支出	33,183,621	32,889,168	294,453
事務費支出	50,565,197	52,038,932	△ 1,473,735
就労支援事業費用	54,645,556	66,012,660	△ 11,367,104
減価償却費	18,403,001	14,203,347	4,199,654
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 6,004,896	△ 4,438,930	△ 1,565,966
その他の費用	0	0	0
サービス活動費用計(2)	461,839,335	488,941,282	△ 27,101,947
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	25,848,340	△ 11,681,362	37,529,702
受取利息配当金収益	486	392	94
その他のサービス活動外収益	600	0	600
サービス活動外収益計(4)	1,086	392	